

# 三朝町



## みささ 議会だより

第94号 平成26(2014)年 1月号

主な内容……町長・議長新春対談、12月定例会  
常任委員会、一般質問

第61回三朝町成人式

平成26年1月12日66名の  
新成人が出席しました

# 町長・議長 新春対談

**町長** 多角的な温泉活用の研究を深めていきたい

**議長** 自然環境を活用した「おもてなし事業」を提案していきたい

○今年の抱負や期待することなど  
司会) 町長、議長に就任されたお二人の今年にける抱負などをお聞かせください。



**町長** 明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、台風はじめ自然災害の無い、おだやかな一年でありたいと願っています。

秋には稲穂が垂れる実り多き年でありたいと願い、景気回復が良くなり、町がさらに元気になる兆を見たいとの思いで正月を迎えました。

**議長** この一年が希望と誇りの持てる町、あちこちで笑い声の聞こえる町であって欲しいと願っています。そのためには景気回復と特に人との交わり、町村交流、村々交流などを通して新しい出会いや人と人の触れ合うことで新たな力が生まれることを期待しています。



○開湯850年事業と今後の継続的事业に向けての思いは

司会) 今年は、三朝温泉開湯850年の大きな節目の年であり、関連する各種の事業も計画されていますが、どのような思いで取り組まれるのかお聞かせください。

**町長** 長寛3年に発見されてから開湯850年を迎え、改めて素晴らしい三朝温泉を考える機会としたい。有限資源である温泉が850年間湧き続けてきたことや、これまで色々な角度で検証し、活用してきたが、さらに多くの人々の健康保持のために温泉がどのように活用できるのか研究者の意見などを聞きながら温泉と医療の結びつき、温泉と福祉施設との結びつきが十分であるのかを検証する一年としたい。

司会) 開湯850年を三朝温泉の素晴らしいさを考え、検証する機会としたいとの町長の思いに対し、議長はどのように考えられますか。

**議長** 三朝は湯と山の町として、湯の健康、山の環境をマッチさせた湯治のための医療基盤の整備なども大切です。

私も開湯850年を契機に三朝温泉を自分たちの大切な温泉としてとらえることが必要だと思います。

司会) この節目を契機に観光型温泉地から保養滞在型温泉地への転換を目指すと聞いていますが、どのような姿を描いておられますか。

**町長** 三朝温泉を利用される方の中には、3週間滞在される方や列車を利用して定期的に来て受診

し、医療施設を利用される方などがあり、温泉活用の在りようについて考えることが求められていると思います。

また、温泉の農業への活用も鳥取大学の研究で有効であるとの研究結果も出ており、多角的な温泉活用の研究を深めていきたい。



司会) 議長は開湯850年事業でどのような方向を期待しておられますか。

**議長** 温泉の利活用策に加えて、恵まれた山などの地域資源の活用がまだまだ不十分であり、先進地などの取り組みを参考に活用を図ることも考えていただきたい。さらには自然環境を活用した「おもてなし事業」を提言していきたいと思います。

**町長** 健康むらを拠点とした各種のウォーキングコースを設定し、その中に近隣の集落の周遊を組み込むなどがあっていいと思います。



## ○少子高齢化への対応はどのように

**司会)** 三朝町にとって少子高齢化対策は重要な問題であります、わが町はどのような方向に進むべきでしょうか。

**町長)** 少子化対策については国内トップクラスの不妊治療への助成充実をさらに進めたい。

これまで青年団などの取り組みに任せてきた結婚促進について、今後は行政の参画も含めて推進する仕組みを作り、一組でも多く方が結婚されることを期したい。

高齢化対策については、100歳元気な町づくりを提唱し、三朝町は元気で長生きの方が多いためです。今後は食生活改善指導や早期受診などでさらに高齢者が元気な町づくりを進めたい。

少子化対策、婚活推進、元気な年寄り対策に加えて、三世帯同居の推進を是非提唱したい。三世帯同居に対しての支援策や優遇策などで若者の定住や子育てしやすい環境の整備充実につながる方策を検討してみたい。

**司会)** 町長から提案のありました、三世帯同居推進は家庭教育の観点からも素晴らしいことですが、議長はこの問題についてどのように考えておられますか。

**議長)** 若者定住の観点から町長の三世帯同居推進の考え方には賛成である。ふる里に帰ってきて三世帯同居をすればこんなメリットがあることを町が発信していくことを提案したい。

若者の結婚問題は、三朝町に限らず中部地区全体の大きな課題でもあり、中部ふるさと広域連合全体で婚活に取り組むことを提案していきたい。

町内の高齢化は今後ますます進行していくことから、町長には色々な取り組み、例えばコンパクトタ

ウン化、シェアハウスでの共同生活などの対策を考えて欲しい。

**司会)** 若者の定住を推進するためには、まず職場の確保、創設が重要と考えます。

**町長)** 若者定住を進めるためには、働く場所の確保と創設が必要であり、業を起こしたい人たちが出てくるのが望まれますが、これらに対する町独自の起業支援策を作っていきたい。

**司会)** 議長は、町独自の起業支援策をとるの考えに加えて何か考えがありますか。

**議長)** やはり若者定住にはまず職が必要です。新たな職の発掘やベンチャーの起業支援などのビジネスチャンスの情報提供が重要であり、是非やるべきです。

**町長)** 世界に同時発信できるインターネットを活用して山奥で商売し、収益を上げている例もあり、インターネット通販などの事業展開も今後大切です。

三朝町は光ファイバーが全戸につながっており、これを利用した起業は可能であり、是非三朝で起業してくださいとメッセージを発信していく必要があります。

## ○100年後の三朝の姿は

**司会)** 最後になりますが、100年先の三朝町がどのような姿になっているか想像してみてください。

**町長)** 100年後の三朝町がどうなっているか想像することは難しいが、逆に60年前の三朝町を振り返るとき今では考えられないことがたくさんありました。100年先にはさらにグローバル時代になり、私たち

の周りに外国から来た人が家を建て生活している姿などが漠然と浮かびます。

**議長)** 私は、医学面では画期的なことが間違いなく起こると思う。これまでの進歩の速度を考えると想像もつかないことも出てくるでしょう。

**町長)** 日本もフランスの様な長期バカンスをとるような時代が遠からず来るのではないかと、そうすればバカンスを温泉地などで過ごす人たちが

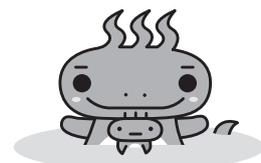
が増えることから温泉地である三朝などが重要な位置を占めるのではないのでしょうか。

## ○外国人観光客1,000万人時代に向けて

**司会)** 昨年日本を訪れた外国人観光客が1,000万人を超えましたが、将来三朝へも多くの外国人観光客が来るのではないのでしょうか。

**町長)** 5年後には3,000万人を超すと言われてます。多くの外国人観光客への対応が重要になり、三朝温泉の観光地としての真価が問われる時代が来ます。

**司会)** いろいろお聞かせいただきありがとうございました。今年一年が三朝町にとって素晴らしい年になることを願っております。



**[司会]**  
山口 博 博議会広報常任委員長

**[写真]**  
清水成真委員

# 12月定例会における 常任委員会での審議

## 産業民生常任委員会

### 町民課

- (委員) 太陽光発電のこれからの普及の傾向について。  
(回答) 昨年の実績は10件。毎年増加傾向にある。  
(委員) 補助金と発電量の基準は。  
(回答) 出力1kwにつき75,000円で、4kwまでを上限に最大30万円の補助をする。

### 建設水道課

- (委員) 町道下河原荒尾線・恋谷線舗装繕修工事は温泉街再生プロジェクトの事業にしたのか。  
(回答) グレードアップしてカラー舗装ということになると、街並みの全体的な考え方を統一していきたい。  
(委員) 万翠楼の前と同じような舗装か。  
(回答) 岩崎の前から美術館までと花屋別館の前がカラー舗装で統一されるというイメージ。  
  
(委員) 新水源調査について、新水源の候補地として吉田とあるが、これからボーリングをして調査するのか。  
(回答) 地下の地形、亀裂の状況、過去の地層のデータなどを含めて、大体地下100mくらいのボーリングをして水量調査等を行う。

- (委員) 片柴バイパス工事にかかる用地・補償状況について、三徳センターの駐車場は何台おける予定か。  
(回答) 駐車場全体としては30～40台程度

- (委員) 消費税法の一部改正に伴う使用料の取り扱いについて、軽減税率の適用はないか。  
(回答) 決定したものではないが、公共料金は速やかに転嫁しなさいと通達がきている。

### 農林課

- (委員) 次世代鳥取梨ブランド化創出事業は県の補助事業になったということだが、今まで県の補助事業はなかったのか。  
(回答) 倉吉の選果場の方でまとめて県の補助事業に取り組んだ。  
(委員) 今後もそういうことで取り組んでいくのか。町の事業というのは必要ないのか。  
(回答) 県とも協議していきたい。  
  
(委員) 緑の産業再生プロジェクト事業補助金という項目は残るのか。国へ返還ということだが。  
(回答) 返還するのは24年度だが、25年度の予算では境界の明確化をやっており、翌年度も継続して残る。  
  
(委員) 「おいしい三朝米コンテスト」について、コンテスト自体の意義が見えない。  
(回答) 最優秀賞になった米を30kg袋、10袋を町が買い上げて商品化して全国各地にPR用、また商品として

販売している。

- (委員) JAがライスセンター改修の経費試算をおこなっているようだが町としてはどう考えているか。  
(回答) 県の事業等を使ってもライスセンターを残すよう協力していく。

### 企画観光課

- (委員) 春の誘客キャンペーンは三朝温泉開湯850年祭の中の事業か。  
(回答) 850年祭とは別枠だが町としても支援していく。

## 総務教育常任委員会

### 危機管理課

- (委員) 片柴バイパス建設に伴い、片柴消防車庫が移転することだが現状は。  
(回答) 新設の車庫を作ってから、現在の物を壊すということです。予算は来年度に。  
  
(委員) 片柴消防車庫が、今年度移転できなかった原因は。  
(回答) 用地交渉が進んでいない為です。

### 健康福祉課

- (委員) 障害者等ホームヘルプサービスの件数は。  
(回答) 年間11名で、124回の利用を見込んでいます。

### 生涯学習課

- (委員) MOCの会員数は、また、報酬はあるのか。  
(回答) 現在7名の会員で運営しています。一人3,000円の謝礼をしています。

### 教育総務課

- (委員) 不登校対策支援員の仕事は。  
(回答) 学校に出てきた生徒の支援や、学校に来られない生徒の家庭へも協議の結果、出向いて行くことになりかと思えます。また、不登校生徒の家庭への相談業務や、保健室の中での相談、日常生活の指導が主な業務になると思えます。

- (委員) 不登校対策支援員の勤務時間は。  
(回答) 1日7時間を考えています。

- (委員) かなり専門性が必要だと考えるが、採用については。  
(回答) 総務課と協議中で、公募か選考かはまだ決まっていません。

- (委員) 正善院修復事業について、正善院は町の指定文化財か。  
(回答) 指定文化財ではありません。

- (委員) 社寺への補助金については色々な意見があるが、補助金を出す理由は。  
(回答) 正善院は、三徳山一帯が「史跡・名勝」に指定されている地域の重要な構成要素の一つと考えられるので、国・県においてはすでに補助金を出すことが決まっています。三朝町においても三徳山の「史跡・名勝」を管理する責務があるので、この度の国庫補助事業において町の補助金を出すというものです。

## 定住対策

**問** 小学校の入学は自由選択制に

**答** 統合の検討を深める方が重要

吉田

現在、住所のある所の校区の小学校しか入学出来ない制度になっていますが、今の若い親は人数の多い小学校に行かせたいため、奥部から里部へ若者が出ていく、また奥部に帰ってこない状況にあります。

教員の配置、教育等の問題もあると思いますが、今のままでは若者は奥部からどんどん減っていくと思います。早急に入学について自由選択制を実行するべきでは？

教育委員長

学校選択制のメリットは、学校間の競争による教育内容の質の向上、子どもの将来目標に合った学校が選べる、いじめ不登校の減少、デメリットは、児童数減少の場合休校、真の友情が育ちにくくなる、地域の子は地域で育てるという三朝町の教育の基本理念が崩れる、地域の協力、PTAの活動が難しくなるなどが予想されます。

保護者や地域の方が小学校選択制を望まれるなら、統合についての検討を深める方が重要ではないかと考えております。新年度統合について



吉田道明議員

再検討いたします。

吉田

統合の問題を協議されるのは結構ですが何年も何年も協議している間に若者は奥部から出ていってしまいますよ。早急に検討していただきたいと思います。

## 定住対策

**問** 結婚問題を行政の手で取り組むべし

**答** 財政支援だけでなく地域づくり支援室等職員と検討

吉田

11月下旬、私と町の青年団の方と兵庫県の加西市にお話を聞きにいってまいりました。その事業の中に、出会いサポートセンター事業、愛のキューピットプラン、デート促進事業、若者学び支援事業とか、いろいろな若者のための事業を、本年度予算65万円、職員2人で仕事割合が約半分くらいで交際—結婚—定住までを頑張っておられました。

本町の場合いろいろな組織などに協力していただき早急に若者のための対策室等を設置して行政が本腰をいれな

ければいけないと思いますが町長のお考えをお願いいたします。

町長

少子化対策や定住対策を進めていく上で、婚活事業などにより若者の出会いの場の創出などに取り組んでいくことは大切な事だと考えております。本町では、きらりと光る町づくり支援交付金、県の支援体制もありますので、町青年団、地域協議会の婚活事業が活発に行われていけばという願いも持っているところであります。

ただ町が財政支援だけでなく人が

1年間そういう事に専念しているというあたりについては、職員の皆さんと検討を深めてみたいと考えております。若者のための対策室等につきましては地域振興対策というポジションを作っておりますので、そういったところの連携が必要だと思っております。

吉田

お見合いをする前に、女性と話し方の講義等の勉強会をしないとカップル誕生の確率は低いそうです。いままでと同じやりかたでは現実として定住、人口増は無理だと思えます。やはり職員がかかってやらないといけません。

## 防災対策

**問** 各集落に除細動器(AED)を設置

**答** 消防団の機動班へ配備の検討

吉田

最近の事ですが、家族の方が朝、心停止に気づかれてすぐ友達に電話で対処を聞かれ心臓マッサージされたそうです。恐らく20分以上後に救急隊が到着してAEDを使ったと思いますが、そのときは蘇生されたそうです。残念ながら病院でお亡くな

りになられました。AEDが近くにあったら、とつくづく私は思いました。

現在、公共的な施設と中学校を含む大瀬地区に10台くらいあると思いますが救急隊到着まで一番時間のかかる奥部には、ほとんどないのが現状だと思います。もしAEDが各村にあったら何年かのうちに1人でも2

人でも助かる方が出てくると思いますが、購入時の補助金制度も含め町長のお考えをお願いします。

町長

消防団員や地域住民の皆さんがAEDを活用して一次救命措置がはかれるようにすることは大変重要なことだと思います。AED設置を希望される集落に対する補助金制度と消防団の機動班への配備について検討してみたいと思います。

ブランナールみささ

**問** ブランナールみささの今後の運営を  
どうするのか

**答** 今後も公営として運営する

**福田**

ブランナールみささの今後の運営について伺う。

景気の低迷もあり、立てられた5年計画がなかなか進まなかった。

従業員のみなさんが頑張るなかで結果が伴わない、完全に悪循環に陥っています。さらに報告書の中で、現状の会計方式を継続した場合、幾ら経営改善を図っても赤字経営が継続することになり、職員のモラル低下につながっています。今後を考えるに当たり、平成24年度の決算並びに25年度10月までの結果を今一度、中部支援センター以外の外部監査を求めるものであります。その結果をもとに、公営として運営ができるのか、また、別の運営なのか考えていきたい。

私は、企業債部分の償還並びに利息を返済する特別会計を設置すべきと考えるが、町長の考えはどうか。さらに、三朝町の新人職員の研修の場としてブランナールみささを考えてはどうか。

**町長**

ブランナールみささは町営の国民宿舎として昭和38年に開業し、今年で50年を迎えます。この施設の経営状況については平成8年に事業収益9億500万円を計上しましたが、その後は経済情勢の悪

化や旅行形態の変化などにより厳しい経営状況が続いているのが実情であります。この施設は、平成7年に総工費約21億円かけてリニューアルし、公営施設として現在までいたっています。この宿舎が有する三朝温泉のコンベンションの機能、地域雇用の確保、地域経済との連携、町の情報発信の役割などを考え、この5年間町が毎年約5,600万円の出資を行って、経営努力を続けているところであります。

外部監査の導入についての提案につきましては、町では本年2月に鳥取県中部商工会産業支援センターにより、この施設の経営診断をしていただいたところで、この経営診断の結果を踏まえ、引き続き経営努力をしてみたいと思っています。

企業債部分の償還並びに利息を返済する特別会計を設置すべきと言う提案に対しては、経営診断に基づく経営努力の実施にあわせて考えてみたいと思います。

町の新人職員の研修についての提案につきましては、来年度より行うこととしたいと思います。

新たな提案についてのお尋ねにつきましては、中部商工会産業支援センターによる経営診断のなかで示されました町営施設として継続する場合の判断指針となる営



福田茂樹議員

業収益を十分踏まえながら、さらなる経営努力をしてみたいと思います。

## 国民宿舎管理者

支援センターの経営診断の改善策の総合提案は、一つ、従業員の安心感ややる気と一体感を醸成して組織機能を高めること。二つ、施設本来の目的に立ち返り明確なコンセプトの絞り込みを行い、営業方針を確立すること。三つ、町民によい意味で興味関心を持たれる施設へと三朝温泉における国民宿舎の存在意義を町、当館とも再認識し、町全体で支える姿勢を明確にすることが示されました。

このような結果を受けて、職員一致して、またぜひ来たい温泉三朝温泉、また、利用したい宿、町民の皆様にも愛される施設となるよう努力しているところであります。

## 子育て

**問** 子育て環境の一層の充実が必要

**答** 三朝版子育て支援策を検討したい

**山口**

今年4月にスタートしたみささこども園は三朝の宝である子どもたちに素晴らしい保育環境を提供するものであり、子育てするなら三朝でと標榜するにふさわしい施設である。

子育て支援、少子化対策は言うまでもなく、ハード、ソフトの両面から取り組むことが求められ、みささこども園の完成は、ハード面整備であり、少子化の進む三朝町においてはこれをさらに補完するソフト面での整備充実が極めて重要な課題と考える。

子育て支援、少子化対策のソフト整備について三朝町では、県トップレベルの多くの対策が用意されているが、これらの対策の現状維持では少子化の十分な歯止めにはならないと考える。

若者に子育てをする場所として三朝町を選んでもらうためには、子育て世代にアピールする強烈なメッセージを発することが必要である。

そのメッセージには、他町村にはない三朝版の新たな施策を用意して臨まなければならないと思う。

子育て世代の流入により、少子化に歯止めをかけ、地域が元気になることは三朝町の願いである。

三朝町の今後の子育て支援策、少子化対策についてどのような方向か伺う。

**町長**

「子育てするなら三朝で」とい

うスローガンのもと諸施策を展開している。

みささこども園は三朝町ならではの環境を備え、保護者に好評である。

また、併設の子育て支援センターは開設日を3日から5日に増やし、利用者が増加している。

ソフト面の子育て支援策は、妊娠から成人するまで一貫して支援していくことが大切と考えている。

全国トップクラスの特定不妊治療費助成、県内で概ね一番安く設定した保育料、チャイルドシート購入費助成、国際感覚育成のための中学生のフランス、台湾への派遣や町の子育て支援策を網羅した冊子「みささ子育てスタイル」を作成配布した。

本町の特徴的な子育て施策として、今後、第三子の保育料無償化を前向きに検討してみたい。

来年度「子ども・子育て支援事業計画」を策定するので関係者と議論を深め、本町ならではの支援策を検討したい。

**山口**

冊子「みささ子育てスタイル」は素晴らしい内容であり、ホームページ掲載だけでなく簡易版を作成して広くPRすることが必要と思うので是非検討されたい。

冊子には県トップレベルの施策が網羅されているが、やはり三朝町だけのオンリーワン施策が必要である。



山口 博議員

**町長**

三朝だからできる、やっている施策がないと町外から子育てに三朝へ来る人はいないのでしっかり検討を加えたい。

**山口**

県トップレベルの表現ではない、三朝だけがやっていると言える施策が外部に強烈にアピールする。

また、現在医療費補助は義務教育段階までだが、18歳の町を離れるまで支援することも検討されるよう注文したい。

三朝町が他町村からうらやましがられる子育て環境として、保育料ゼロと言うような大胆な提案が必要だ。

「子育てするなら三朝で」と言わしめるための思い切った施策の充実を図られたい。

## 子育て

**問** 働く女性を支援するファミリーサポートセンターの充実を

**答** 会員の不安を解消していく体制づくりに努める

**中信**

三朝町の課題として、少子化の現状をどうにかしたいと感じているのは私だけではなく町民全体も感じている。女性が働くと子どもの数は増える。女性の育児、仕事が安心して出来る環境作りが大切だ。

働く女性の支援策として、三朝町ファミリーサポートセンターが、平成23年1月に設立されているが、残念ながら機能していないように思う。どんな背景で設置されたのか、また今後どのように充実をさせていくのか伺う。

**町長**

ファミリーサポート制度は子育ての援助を受けたい方と援助をして下さる方を結ぶ会員組織で、子育てが安心して出来る環境作りを目的にして始まったもの。このセンターの活動状況ですが、会員数は援助を受けたいお願い会員11名、援助をする任せて会員7名で開設以来利用実績は1件にとどまっている。

このセンターの設立に当たり保育園や小学校の保護者の皆様にアンケート調査を実施、約半数の方が援助を受けたい会員として登録すると回答があり、利用ニーズが高いと判断した。利用の伸び悩みは他人の家に子ども

を預ける不安、利用料の負担があると考え、子育て支援センターでの預かりや負担額の軽減を図るようにした。

当センターの活動は、仕事や育児が安心して出来る女性のための支援の一つとして重要な役割を担っており、子どもを見守る会員同士のネットワーク構築が地域の力を高めて行く事に繋がると考える。今後も制度の利用促進に向けて呼びかけて行く。

**中信**

公共の施設での預かりの検討が出来るか伺う。

**町長**

こども園に子育て支援センターを移動したことにあわせ、そこを使用出来ると広報している。ただし、預けられた子どもは支援員でなく、任せて会員が担当する。

**中信**

子育て支援センターは2時頃までですが、それ以降の時間帯はどうなるか。

**町長**

基本的には子育て支援センターの開設時間帯でお願いしたい。延長の部分は、今は考えていない。



中信貴美代議員

**中信**

延長、土日の対応も是非検討して欲しい。近年ファミリーサポートセンター事業における子どもの事故が起こっている。重篤な事故のケースの時に実施主体の町としての対応はどう考えるか。

**町長**

公共施設での事故は町が責任を持つが、他の所での事故はファミリーサポート制度自体が会員同士で成り立っている組織なので責任は持てない。

**中信**

責任の所在のことは相互の会員が十分認識をしたうえで契約してほしい。また会員同士の信頼関係を築くためのイベント、講習会等をして頂きたい。

**町長**

それぞれの会員の不安を解消していく、心配のない体制を構築していくよう努めたい。

## 対不登校策

**問** 教育委員会が先頭に立つて行くべきではないか

**答** 非常に難しい問題ととらえています



清水成眞議員

清水

教育委員会は、不登校対策についてどのように考えているか？

教育委員長

小学校は現在0名ですが、中学校は出現率が3.46%で、全国平均よりも高い状況となっています。不登校の原因は学校、家庭、本人に関わる状況があり、対策には画一的な対策はなく、きめ細やかかつ慎重に取り組む必要があります。

清水

不登校対策支援員の配置は？

教育委員長

不登校の専門的に関わる方、経験のある方を配置し、不登校生徒の減少や予防的な対策をしていたきたいと考えています。

清水

勤務態勢は？

教育委員長

1日7時間で、生徒への学習支援、家庭との連絡、生徒の送迎や相談活動や未然防止の対策を考えています。

清水

教育委員会として、今年は全国的にも不登校生徒の出現率が高くなることは予想できなかったのか？

教育委員長

把握はしていました。しかし、学校で対応できると考えていました。しかし、十分な対応が出来ないということで今回の配置になりました。

清水

今回の支援員の配置では、抜本的な対策になっていないと考えるがどうか？

教育委員長

不登校の生徒の原因は画一的なものではないので、経験のある方に関わっていただき事態が少しずつ改善の方にむかえたと考えています。

清水

家庭の支援策も非常に大切だと考えるがどうか？

教育委員長

家庭を支援することは非常に大事なことだととらえています。家庭

教育相談員や指導委員の皆様の支援をいただきながら家庭に寄り添う形で支援できればと考えています。

清水

教育委員会と校長会がリンクをして、一緒に会議が出来る体制づくりが必要ではないか。

教育委員長

今まで機会がなかったもので、これを機会に真正面に取り組んでまいりたいと考えています。

## 介護

**問** 三朝流の介護支援策・生活支援策を考えるべきではないか？

**答** 提案いただいた内容も含め、検討していきたい

清水

高齢者の介護問題の認識は？

町長

本町の65歳以上の人口は、2,368人で高齢化率は33.9%で、年々高くなっています。従って高齢者の方々を支援していく仕組みを充実させていくことは大変重要だと考えています。第10次三朝町総合計画の中で「100歳元気な町づくり」を掲げているような対策を推進しています。

清水

老人介護や、一人暮らしの高

齢者の不安な思いをどのように受け止めているか。

町長

介護に当たる家族の支援は、包括支援センターが月に一回、認知症家族の会を開催しているほか、介護保険サービスを利用されている方々についてはケアマネージャーがご家族の相談に対応しています。また、家庭訪問をしたり社会福祉協議会による愛の輪運動や、その他いろいろな活動を地域の方々と推進しています。

# 私の抱負をひとつ



どんな時代が待ち受けているか読めない。

しかし、いくつかの潮流は見えている。事実をしっかりと受け止め、十分な検討を加えて、次の世代に伝える・残せる町づくりに努力したい。

**議長 山田道治**



新しい年をむかえ、今年的一年は恒に前向きな年でありたいと思います。

何が三朝町にとってよいのか、どうしたら三朝町にとってよいのか、しっかりと議論をしていきたい。町民の方も、プラス思考であってほしい。

**副議長 福田茂樹**



平成26年の新春を迎え、町民皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたします。

町政に多くの課題が山積しており、議員選出監査委員として、誤りのない道を前進できるよう努めたい。町民各位のご指導をよろしく願います。

**牧田武文**



今ほど、議会が住民代表として、住民の声を議会を通じて反映させ、状況と情報を住民に還元することが求められている時代はない。議員一人ひとりが、そして議会が文字通り住民感覚に即して信頼される活動をするにはどうすべきかを考えていきたい。

**平井満博**



今期、産業民生常任委員会に所属しています。課題がたくさんありますが、納得できる結果を出せるよう、精一杯取り組んで参りたいと思います。

初心を忘れることなく、町民の皆様のご意見、ご感想を議会に届け、町政に反映していけるよう努力して参ります。

**藤井克孝**



私の好きな言葉に、「一隅を照らす是即ち国宝なり」という言葉があります。自分の与えられた物すべてを光り輝かせていくことです。そのためには「努力」しなくてはなりません。4年間の与えられた時間を照らしていきたいと思ひます。

**清水成真**



新人議員として新しい視点で議会活動に全力で取り組んで参ります。特に子育て環境や教育環境の整備充実

に努めます。

議会活動を通して、町民の皆さんに信頼、尊敬される議員でありたいと思ひます。

**山口 博**



皆様のご支援を頂き議員となり、その責務を痛感しております。まだまだ未熟でございますが、皆様のご指導ご

助言を頂きながら、「三朝町に住んで良かった」と言える町づくりを常に念頭に置き活動をして行きたいと思ひます。よろしく願ひ申し上げます。

**中信貴美代**



住民の声が届く議会、行政となるように努力し、また若者が定住し、安心して子育て出来る町にしたい。

三朝町の資源を生かしたまちづくりを提案します。

**能見貞明**



今年は、これまで以上に積極的に勉強していき、全てのことをよく見るゾウ、どんなこともよく聞くゾウ、よく考えてから言うゾウ。この新型の三ゾウ法師たらんことを目指し、町のため・町民のために行動していきたい。

**池田雅俊**



昨年は町内全域を回りいろいろな意見を聞くことができありがとうございました。

今後も一つでも多くの町民の意見を聞き町政に反映するため自分に嘘はつかず人は裏切らまいの精神で邁進する所存であります。どうぞよろしく願ひいたします。

**吉田道明**



謹んで、初春のおよろこびを申し上げます。今年も心新たに頑張っています。本年は、三朝温泉開湯850年の節目を迎え、先人の人々が支え築き上げてきた、湯所三朝町を再度見つめ直し、今以上に町が活性化して行くことを目標に頑張ります。

**石田恭二**

## 【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）	石	吉	池	能	中	山	清	藤	福	平	牧	山	結果
		田	田	田	見	信	口	水	井	田	井	田	田	
		恭	道	雅	貞	貴	博	成	克	茂	満	武	道	
		二	明	俊	明	美		眞	孝	樹	博	文	治	
町長提出議案名														
(12月定例議会)														
80	平成25年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
81	平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
82	平成25年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
83	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84	平成25年度水道事業会計補正予算（第2号）													
85	地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86	三朝町多目的展示施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
87	鳥取中部ふるさと広域連合中部ふるさと市町村圏振興事業基金の権利放棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案名														
(12月定例議会)														
7	新聞・出版物をはじめ、食料品など生活必需品の消費税軽減税率適用を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。

※山田道治議長を除く11名の賛否状況です。

## 【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
原子炉の再稼働に反対し、原子力に頼らないエネルギー政策への転換を求める陳情	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会	趣旨採択	将来的には原子力に頼らないエネルギー政策への転換をするべきと考えるが、今すぐに原子炉を再稼働させないことは、住民生活に与える影響が大きい。
消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する陳情	鳥取県朝日会、山陰中央新報鳥取県販売店会、山陰日経会、日本海新聞を発展させる会、毎日新聞山陰専売会、鳥取県読売会	採択 意見書提出	複数税率導入は必要と考えるが、新聞だけでなく他の出版物、食料品など生活必需品も含めての意見書とする。

三朝町地域子育て支援センター

# 雨の日も安心！ 親子が集う屋根のある公園！ 三朝の宝を育む場所

みささこども園の中に子育て支援センターがあることをご存知でしょうか。昨年3月まではみささ村公民館内にありましたが、こども園完成に伴って4月からはこども園の中に開設されました。

子育て支援センター取材しました。

## ◎子育て支援センターはこんなところ

- \* 就園前の子連れの新米ママや育休ママ、子守のおばあちゃんが気軽に集える場所
- \* ママ友同士の情報交換、子育て先輩の経験談が聞ける
- \* 子育てアップ講座の開催  
(教委主催で月1回専門家による講座)
- \* 経験豊富なアドバイザーを配置  
(元保育園長や教員、子育て先輩など)
- \* ママ同士の自主的活動の計画と実施  
(クリスマス会など季節ごとに計画)



## ◎利用者の声

- \* 子育て先輩の生の声が聞ける
- \* ママ同士の子育て情報の交換ができる
- \* アドバイザーの適切な助言がある
- \* 子ども同士の交流ができる

## ◎利用実績

平成24年度 延べ1,541人(週3日開園)  
平成25年度(11月現在) 延べ1,935人

## ◎取材者の感想

核家族化が進む中、育児本情報に頼りがちな新米ママに適切なアドバイスや子育て経験談が直接聞ける大切な場所です。

多くの新米ママに利用して欲しいものです。

**【開園時間】** 月曜日～金曜日 9:00～14:00  
土曜日 開放日 9:00～12:00

**【センター長】** 向井由里子さん

**【アドバイザー体制】**

[月曜日] 小椋・川北 [火曜日] 山田・米田  
[水曜日～金曜日] 藤原・安部

**【利用料】** 無料(自主活動時に実費負担あり)

**【連絡先】** ☎43-5772 支援センター事務局(市村)

おわりに

ちよひつひつ

アベノミクスという三本の矢が放たれて一年が経つ。東京証券取引所は昨年一年間で約六〇%近く上昇した。テレビでは、しきりに景気回復が順調に進んでいるかのように報道されている。東京・大阪といった大都市や大企業で好景気配が出現しても、田舎や中小零細企業にはなかなか到達しない。しかし、不景気の波はまるで電波の如く即日到達する。本当に不思議な現象である。

好景気の波もこうあってほしいものであるが、簡単にはそうはいかない。日本の経済のシステムに何か不具合でもあるのだろうか。先人たちが考え出した資本主義。市場経済の仕組みが老朽化しているならリニューアルが必要なのでは。

(池田雅俊 記)

発行責任者

議長 山田 道治

編集

議会広報常任委員会

委員長 山口 博

副委員長 池田 雅俊

委員 福田 茂樹

委員 清水 成眞

委員 能見 貞明